

学校教育目標 **自分らしく生きる力を身につけ、なかまとたくましく歩む子の育成**

【目指す学校の姿】「スマイル! TOGO(とうごう)」

児童・保護者・教職員みんなが笑顔の学校  
 児童:「わかった!」「自分らしくいられる場所」  
 保護者:「子どもが楽しい、好きな場所」「相談できる」  
 教職員:「子どもの笑顔」「子どもの成長を応援する場」  
 「チームワーク」「自分や家庭を大切にできる」

東郷っ子につけたい4つの力「たくましさ」

③自分の考えをもち、語る力

④失敗を恐れず、挑戦する力

①自分を知り、すきになる力 ②人を大切にして、関わっていく力

「①②の力を全ての土台とし、③④の力を身につける」ことを実践する東郷小

【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成  
 【福井市学校教育方針】学びをつなぐ・未来につなげる  
 【「つながる」を大切にした東郷づくり】  
 「わかる授業づくり」と「居場所づくり・絆づくり」、  
 「キャリア教育の充実」と「家庭・地域」をつなぐ

重点目標

東郷っ子みんなで支え合う仲間作り

- (1) 得意は認め、苦手は励ます関係づくり
- (2) 歌声の響く学校づくり
- (3) 人間関係づくりのスキルを学ぶ

「自分の考えを、自分なりの方法で、発信・実行する児童」

- (1) 特別活動の「学級活動」を児童主体の時間・場に
- (2) 生活・総合的な学習を核とする年間指導計画と実施で力をつける
- (3) 地域資源(人材)と繋ぎ、キャリアデザインの場合に

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校

- (1) 個に応じた支援 NO.1 の東郷小
- (2) 地域と歩む安全教育
- (3) ワクワク! TOGO つながる大作戦

具体的な取組

(1) 縦割り交流の活性化

アフターコロナ、縦割り交流活性化で「小さい子にやさしくする」「上の子にやさしくしてもらう」経験を幾重にも積み重ねる。

(2) 歌でお互いを高め合い、尊重し合う

クラス・学年・全校で、一体となる経験を味わう。(創立150周年で得た力を継承)

(3) SST、SGEでスキルアップ

人付き合いのスキルや人間関係づくりを積み上げる。

(1) 児童が、学校生活での自分たちの課題を自分たちで解決する

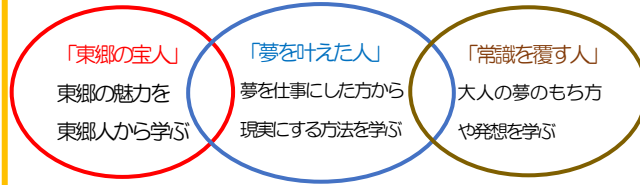
「生徒指導(ルール)」「安全」「食」「保健」「異学年交流」等の課題を、児童の実態や現状や年間行事等と絡めて学級・学年・全校で考え、「自分たちで気づき、決め、実行する児童集団」を目指す。

(2) 全教科・領域をつないで力をつける教育活動の展開と説明

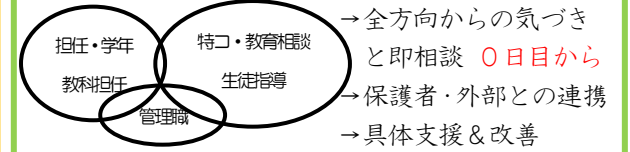
「総合的な学習の評価項目」と「メディアリテラシー」を明示。全教科・領域でつける力として教育活動を展開、学習効果の最大化を図る。児童・保護者に、ついた力について説明する。

(3) 地域資源と東郷っ子を繋ぐ教育活動の展開→身近な課題に気づき、

探究へつなぐ  
 ~6年間で  
 段階に応じた  
 力をつける~



(1) チーム対応で児童を必要な支援に繋ぐ



(2) 児童・PTA・地域と共に「学校安全」を考える

- ・避難訓練等の安全教育を保護者に開放
- ・「東郷安全マップ」を児童とPTAで作成

(3) 東郷小の魅力発信 ~学校だより・HP等で~

数値目標

- 自他を大切に認めて共に取り組んでいる児童90%以上
- 最後まで意見をはっきり話す児童85%以上

- 自分たちの課題に気づいたり、取り組んだりしている児童80%以上
- 児童につけたい力を意識して、教育活動を提案・計画・実践した教師100%
- 将来の夢や目標をもっている児童85%以上
- 郷土福井(東郷)を大切にしたい児童90%以上
- 教育目標や児童につけたい力について理解した保護者90%以上

- 学校が楽しいと答える児童91%以上
- 学校の考えが適切に伝えられていると感じる保護者90%以上
- 安全面を指導していると感じる保護者85%以上
- 学校全体で児童理解・支援につなげたと考える教師100%
- ※昨年度より目標数値を上げたものは赤字、文言変更は青字で

R5業務改善の取組 ◇年間の業務推進日を保護者に知らせ、理解を得る ◇1~3年生の授業時数見直し ◇指導要録所見のスリム化 ◇組織対応で個人負担削減  
 ◇コロナ明け、地域やPTAにお願いできることを提案、話し合う一年に ◇登校時間の変更 ◇児童が自分事として課題を考え、決め、実行する学校に